

エコライフDAY2010 埼玉

冬のキャンペーンのお知らせ

～あなたがみせる、地球への思いやり～

暖房などにより二酸化炭素の排出が増える冬、三芳町と埼玉県では、地球温暖化防止のためのキャンペーンを実施しています。

地球温暖化を止めるには、皆さんの取組みが、重要なカギを握っています。温暖化対策は一人ひとりが主役です。身の回りのできることから、冬のライフスタイル実践に取組みましょう。



2. 冬のエコライフDAY

キャンペーン期間
12月1日から3月21日

期間中の1日、環境によい生活にチャレンジしてみませんか。省エネ・省資源の成果をチェックシートで把握していただきます。チェックシートは、三芳町役場環境産業課に置いてあります。個人、もしくは自治会、学校、団体、企業単位で参加できます。詳しくは、埼玉県温暖化対策課のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/ecolifeday.html>

問い合わせ 環境産業課環境対策係 (内線216～218)
埼玉県環境部温暖化対策課 ☎048-830-3033

1. 冬のライフスタイル実践

キャンペーン期間
12月1日から3月21日

暖房温度を暖め過ぎず適温(20℃以下)に設定しましょう。重ね着や膝掛けなど、暖房に頼らず暖かく過ごす工夫をしましょう。



ストップ!!地球温暖化

3. 夏のエコライフDAYの結果報告

町では、教育委員会の協力を得て、小学校5校・中学校3校・淑徳大学などで夏のエコライフDAYを実施しました。

・実施日	7月11日(小・中学校)
・参加人数	小学校 1,932人 中学校 845人 (児童・生徒、家族、教職員)
	一般 593人 (淑徳大学、藤久保5区友和会自治会、役場職員 ほか)
合計	3,370人
二酸化炭素削減量	2,140,281g
1人あたり	635.1g

(杉の木153本が1年かけて吸収する量に当たります。)

ごみを出すときにはもう1度確認を!!



町・県では、ごみの減量を進めています。特に、年末・年始のこの時期は、大掃除などで家庭・事業所から一年で最も多くごみが出されます。そこで、掃除・買い物の時には次のことに注意してください。

- ①もう一度ごみの分別を確認しましょう。
・掃除をする前にもう一度ごみの分別を確認してください。
・テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン、洗濯機、衣類乾燥機は町では収集しません。買い替えのときには電気店に相談してください。
- ②買い物のときには、レジ袋及び過剰包装を断りましょう。

※ごみを出すときには、もう1度「平成22年度家庭ごみの正しい分け方・出し方・日程表」を確認して出してください。

年末年始こそマイバッグ!

～マナーを守ってみんなで楽しくお買い物!～

年末、年始は1回のお買い物が多くなりがちです。いつもはマイバッグを持つ方も、つついレジ袋をもらっていませんか?

こんな時こそマイバッグ!

- いつもよりちょっと大きめのマイバッグ
⇒ 手持ちの数を少なくしませんか?
マイバッグに入るだけのお買い物
⇒ 無駄な買い物、少なくしませんか?



つまり、お気に入りのマイバッグを使うと...

- ①ごみになるレジ袋を減らす
- ②CO₂を減らす
- ③無駄な買い物を減らす



一石三鳥の
エコ生活

《忘れないでね マイバッグ・マナー!》

- (1) 買い物中はマイバッグを折りたたんだままにしましょう。
- (2) 商品はお店に備え付けの買い物カゴに入れましょう。
- (3) マイバッグはレジが済んでから使いましょう。



容器包装プラスチック・ペットボトルの出し方にご注意ください

各家庭から資源ごみとして出される「容器包装プラスチック類」や「ペットボトル」は、日本容器包装リサイクル協会を經由して再資源化されています。収集した袋の中には、異物や汚れのひどいものが多く混ざっており、リサイクルの妨げになるので絶対に混入しないように注意してください。

問い合わせ 環境産業課 (内線216～218)

容器包装プラスチック類

■プラマークを確認します

容器包装とは、商品を入れているものや商品を包んでいるもので、中身の商品を使ったり、取り出した後に残る「容器」「包装」「袋」です。そのうち、プラスチック製のものが容器包装プラスチックといえます。容器包装プラスチックには、プラマークが表示されていますので、このマークを目安に分別をしてください。



ボトル類・トレイ類・カップ・パック類・ポリ・レジ袋類・網・ネット類・緩衝材類・フタ類などがあります。

プラスチック製であっても商品(容器包装でない物)そのものは、対象外であり不燃ごみになります。



■汚れが目立ちます

汚れを取り除いてください。汚れは、紙や布で拭き取るか水やお湯ですすいで取り除いて出してください。汚れが付いているとリサイクルの障害になります。また、汚れたものを混入すると、正しく出された他のものまで汚してしまいます。※汚れが落ちないものは、「可燃ごみ」へ



マヨネーズや弁当・納豆などの食品等に付着している汚れは必ず取り除いてください。

■異物の混入はダメ

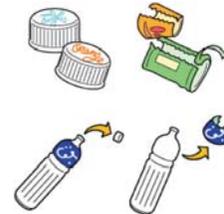
容器包装プラスチックごみの袋の中には、さまざまな異物の混入が見受けられます。リサイクルの妨げになるので絶対に混入しないように注意してください。



ペットボトル

■右のマークが目印です

清涼飲料、しょうゆ等の特定調味料、酒類、乳飲料用のPETボトルには、ラベル部分やボトルの底に右のマークがつけられています。



「キャップ」と「ラベル」は取って、容器包装プラスチック類に出してください。

軽くすすいで水を切ってください。

つぶしてください。

ペットボトルキャップを回収しています!

藤久保公民館と総合体育館にキャップ回収透明ボックスを設置しました! リサイクル活動を通して、地球環境と子どもたちを救うことを目的としたペットボトルキャップ回収事業に、ご協力ください。

